

# 人間科学部

心理行動科学科



## 人間科学部での学び

人間の心を深く理解するには心そのものに注目だけでなく、心と密接につながる身体、そして心をもつ人同士のつながりが作り出す社会についても知る必要があります。近年の相次ぐ震災や豪雨災害のみならず、コロナ禍の長期化で心と身体の健康管理における心理学と行動科学の重要性が一層認識されるようになりました。本学部では、心理学の基礎・応用・臨床、そして関連領域であるスポーツ科学や社会学を総合的に学びます。

### 公認心理師国家試験の受験資格や教員免許(保健体育)も

本学部には公認心理師国家試験の受験資格取得に必要な科目が含まれています。  
※認定心理士、社会調査士のほか、保健体育の教諭一種免許状(中高)も取得可能です。

人間科学部を  
もっと知る



## Admission Policy

入学者受け入れの方針  
アドミッション・ポリシー

「教学上の方針」の詳細は  
こちらからご確認ください



1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
  2. 人間科学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間の心と身体、社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
  3. 高等学校における学習によって、人間科学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
  4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
- 以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)
  6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

## 心理行動科学科の特色

### 人間の行動を3分野から科学する 心理学+スポーツ科学+社会学<sup>無限大</sup>=∞

人間の行動や思考は、社会や環境の影響を強く受けています。本学科では、心理学・スポーツ科学・社会学の3分野を軸に、人間の行動を科学的手法で多角的に探究します。

たとえば「健康」というテーマ一つをとっても、心理学は個人の心理的健康や対人関係、スポーツ科学は身体的健康や運動パフォーマンス、社会学は社会全体の健全性や公正性に注目します。同じ人間を対象にしながらも、異なる視点から迫る研究の多様性こそが本学科の大きな魅力です。分野横断的な学びを通して、人間理解をより深く、立体的にしていきます。



### 体験型の学びを含めたラーニング・パス 科学的研究手法を効果的に習得

本学科では、座学と体験型の学習を組み合わせた「段階的な学び(ラーニング・パス)」を重視しています。1年次では与えられる課題に関する実験や調査に指導のもと取り組み、科学的に考える基礎を身につけます。2年次には体系的に実験や調査を経験し、研究手法への理解を深めます。3年次のゼミナールでは自分たちでテーマを設定して研究に取り組み、4年次にはデータ収集から分析、論文執筆、発表までを主体的に行います。きめ細かなフィードバックと学生同士の学び合いを通して、人間の心理と社会を読み解く力を着実に養います。



### 各種資格取得をめざす 専門家として社会に貢献する人材を育成

本学科では、心理学・スポーツ科学・社会学の専門性を活かし、社会に貢献できる人材の育成をめざしています。公認心理師(国家資格)をはじめ、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)、認定心理士、社会調査士の資格取得をめざすことができます。

特に公認心理師は、医療・福祉・教育・産業など幅広い分野で活躍が期待されています。授業では、社会の現状やニーズを科学的に把握する力を養い、支援を必要とする人や社会に寄り添うための実践的な知識と技術を身につけていきます。





理念・目標

人間生活の抱える種々の問題に現実的に対処すべく、人間を多角的・実証的に捉える力を備え、健康的な生のあり方を追求する人材を養成する。

心理学

心の仕組みや働き、健康について実証的に研究する学問。研究で得られた知見は、生活や社会的場面の現象を理解する際に役立ち、心理支援や心身の健康増進に活用されます。

スポーツ科学

運動・スポーツが心と身体の状態、そして社会全体にどのような変化をもたらすのかを学び、社会にある諸問題を解決できる能力を身につけます。

社会学

現代社会で生じるさまざまな問題が、なぜ・どのように生じるのかを解明するのが社会学です。個人の心理や行動と社会の結びつきを、調査とデータを踏まえて分析します。

専門分野

専門科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基盤科目	心理学概論 臨床心理学概論 社会学概論 社会調査基礎論 体育原理 スポーツ科学概論			
研究方法科目	基礎統計学	心理学研究法 心理学統計法 社会調査法 社会統計学	多変量解析 スポーツ科学研究法 スポーツ科学統計法	心理行動科学科特殊講義
実験・実習科目		心理学実験 心理的アセスメント	社会調査実習A・B スポーツ科学実験実習A・B	
演習科目	基礎演習A・B		演習A・B 特殊研究 文献講読A・B	卒業研究A・B
臨床		人体の構造と機能及び疾病 学校保健Ⅰ 心理学的支援法	障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 福祉心理学 精神疾患とその治療	衛生公衆衛生学 学校保健Ⅱ 学校安全及び緊急処置
個人	スポーツ心理学Ⅰ スポーツ生理学 運動方法学	知覚・認知心理学 学習・言語心理学 感情・人格心理学	発達心理学 スポーツ心理学Ⅱ	神経・生理心理学 意思決定の科学
社会	スポーツ社会学	社会・集団・家族心理学 教育・学校心理学 ジェンダーの社会学 現代社会と心理	産業・組織心理学 関係行政論 スポーツマネジメント	司法・犯罪心理学 不平等の社会学 家族社会学 応用社会調査法

※2026年3月時点の情報です。※掲載内容は予定であり、変更となる場合があります。

Topics

特徴的な学び1

「考える力」を鍛える  
実験・調査のコア科目

本学科では、心理学の実験や社会学の調査を通して、「考える・たしかめる・書く」力を徹底的に鍛えます。2年次の心理学実験・心理的アセスメントでは年間8本の実験とレポート作成に取り組み、社会調査実習ではテーマ設定から調査、分析、報告書作成までを1年かけて経験します。課題に費やす時間は多く、レポートは教員の添削を受けて何度も書き直します。学生に聞くと「最もハードな授業」との噂も…。しかし達成感は大きく、熱心に取り組む学生は、実証的に考え、科学的に確かめ、他者に伝える力を大きく成長させていきます。



Topics

特徴的な学び2

スポーツ科学分野：  
科学的アプローチによる心身の探究

スポーツ科学領域では、運動が心身に及ぼす影響を調査・実験・データ分析を通して実証的に解明します。多分野の多彩な専門を持つ教員が揃い、多角的な視点からスポーツを科学できるのが特徴です。運動生理学的な実験による身体メカニズムの探究、ICTを活用した効果的な教授法の習得など、理論と実践を幅広く学べます。また、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)も取得可能です。心理学の知見も併せ持つことで、心の問題にも柔軟に対応し、現代の教育現場で活躍できる教員をめざせる環境が整っています。



More Topics



自分も誰かを救える存在に  
公認心理師をめざして充実の日々

3年 佐藤 楓 さん  
(宮城県/富谷高等学校出身)

高等学校時代、精神的なつらさを支えてくれたカウンセラーの方に憧れ、自分も誰かを救える存在になりたくて心理学を志しました。たくさんオープンキャンパスに行って、一番明るくて活気があったのが本学。実際に入学すると先生方が素敵で授業も興味深く、毎日が充実しています。心理学を学ぶことは、自分自身にも向き合いマイナス面も知ることで、きちんと学べばそれも怖くないと分かりました。

卒業後は本学の大学院に進み、公認心理師の国家資格取得をめざしたい。しっかり学んで、苦しんでいる人の役に立ちたいです。さまざまな施設で実習をして、仕事の厳しさの一端に触れました。とても大変に思える現場も、スタッフの方々が楽しみをみつけながら明るく乗り切っておられる姿に感銘を受けました。私もこんなふうになんか強く優しくなりたいです。



NEXT

続きはこちら

